会員の皆様にお聞きしました

新南陽の景況感

監修・分析／マサエンジニアリング代表
中小企業診断士　佐伯　昌之　氏

調査概要

調査対象期間　2024年10月～12月（現状）における景況感と、2025年1月～3月（今後）における景況見通し

調査対象　新南陽地域の企業65社

調査方法　商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収

調査項目　「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

産業全体

全体の業況DIのマイナス幅は縮小（改善）している。しかし、全ての業種で依然として仕入れコスト増、人手不足の状況に有る。先行き見通しの業況DIは悪化しており、厳しい見方が続いている。

新南陽地域の2024年10月～12月期の業況DIの全産業合計値は▲36．0％となり、前期調査（2024年7月～9月期）よりもマイナス幅が21．1ポイント縮小（改善）した。また、全業種で売上高DI、採算DI、従業員DI、設備DIが持ち直している。しかし、今回の調査では、仕入単価DIが▲100％（全事業者が悪いと回答）、従業員DIは100％（全事業者が人手不足と回答）を全ての業種が示しており、物価高騰と人材不足の状況は続いている。

全国の「第178回中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構）」全産業の業況DIのマイナス幅は▲0．9ポイント拡大（悪化）した。新南陽地域の今後3カ月先行き見通し業況DI全産業合計値のマイナス幅は拡大（悪化）する見通しとなっている。全国の今後3カ月の先行き見通し「第178回中小企業景況調査」の全産業合計値のマイナス幅は縮小（改善）する見通しとなっている。

全国的には円安基調が続く中、原材料価格や電気代の高騰などによるコスト増が続いている。また、深刻な人手不足や労務費を含めた価格転嫁の遅れ等も足かせとなっている。根強い経営課題は山積しているものの、年末需要の下支えを受け、中小企業の業況は、改善となった。

（商工会議所LOBO調査12月）

【卸・小売業】

業況DI、仕入単価DI、資金繰りDIの項目は前回に引き続き全て▲100％（全事業者が悪いと回答）。

今後3カ月の先行き見通しでは売上高DIはマイナス幅が縮小（改善）、採算DIはマイナス幅が拡大（悪化）して▲100％（全事業者が悪いと回答）になる見込み。

コメントの報告はない。

【製造業】

業況DI、資金繰りDIのマイナス幅が拡大（悪化）して▲100％（全事業者が悪いと回答）。採算DI、従業員DI、設備DIのマイナス幅が縮小（改善）している。

今後3カ月の先行き見通しでは従業員DI、設備DI以外は▲100％（全事業者が悪いと回答）となっている。改善見込みの項目は無い。

値上げの浸透により、収益が徐々に回復傾向となったとの報告有り。

【サービス業】

売上高DI、採算DI、従業員DIのマイナス幅が縮小（改善）している。マイナス幅が（悪化）している項目は無い。

今後3カ月の先行き見通しの業況DI、売上高DI、採算DIのプラス幅が縮小（悪化）する見込み。改善見込みの項目は無い。

人手不足、人件費高騰等の報告有り。

【飲食・宿泊業】

業況DI、売上高DI、採算DIのマイナス幅が縮小（改善）している。マイナス幅が（悪化）している項目は無い。

今後3カ月の先行き見通しの業況DI、売上高DI、採算DI、

設備DIのマイナス幅が拡大（悪化）している。改善見込みの項目は無い。

仕入単価の上昇が続いている。販売価格に転嫁すると来店客が減少するとの報告有。

【建設業】

業況DIのマイナス幅が縮小（改善）。売上高DI、採算DI、資金繰りDIのマイナス幅が拡大（悪化）している。

今後3カ月の先行き見通しは業況DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIのマイナス幅が拡大（悪化）している。改善見込みの項目は無い。

コメントの報告はない。

【運輸業】

業況DI、売上高DI、採算DIのマイナス幅が拡大（悪化）している。資金繰りDIのマイナス幅が縮小（改善）している。

今後3カ月の先行き見通しは採算DIのマイナス幅が縮小（改善）。資金繰りDIのマイナス幅が拡大（悪化）して▲100％（全事業者が悪いと回答）となる見込み。

景況悪化、人手不足の中で、売上高増加、利益好転との報告も有り。

DI（景気判断指数）値とは？

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率をしめすものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

DI＝（増加・好転などの回答の割合）－（減少・悪化などの回答割合）

業況・採算：（好転）－（悪化）

売上：（増加）－（減少）

	全体		卸・小売業		製造業		サービス業		飲食・宿泊業		建設業		運輸業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
業況	-36.0	-60.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	50.0	-33.3	0.0	-20.0	-14.3	-60.0	-100.0	-100.0
売上高	-31.6	-44.8	-71.4	-20.0	-60.0	-100.0	25.0	20.0	-20.0	-50.0	-25.0	-66.7	-60.0	-60.0
採算	-35.3	-64.3	-66.7	-100.0	-33.3	-100.0	33.3	20.0	-20.0	-100.0	-33.3	-71.4	-100.0	-60.0
仕入単価	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0
従業員	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
設備	55.6	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	-33.3	-33.3
資金繰り	-73.3	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-50.0	-100.0	0.0	-100.0

※前年比…2024年10月～12月と前年同月の比　見通し…今後3ヶ月（2025年1月～3月）の見通し

会員の声

【製造業】
◇値上げの浸透により、収益が徐々に回復傾向となった。
◇物価が高騰するも、価格転嫁できていない。

【サービス業】
◇外注含めてスタッフ不足、人件費高騰だがクライアントの元値が変わらない。
◇景気が悪いです。

【飲食・宿泊業】
◇仕入値は上昇し続けています。少しずつ販売価格に転嫁しています。価格のバランスを見た商品を選ぶことが大事になりますが、安価な商品があまりないので、難しさがあります。
◇原材料・エネルギー価格・労務費のコスト増、その分販売価格を上げれば必ずお客様は高くなったと思い店に来ていただく日が少なくなります。又、人手不足の中、働き方改革で、思うように働けず、店は上手くいかなくなるし、従業員さんも収入は増えない。

【運輸業】
◇定修等により売上高増加及び経常利益が好転した。
◇人手不足に変化はなく、事業の好転は見込めない。
◇徳山港におけるコンテナ船減による景況悪化。